

美しい秋

いつものように静かに秋がやってきた。体感も涼しさから寒さを感じる。秋は何と言っても紅葉である。淡い紅葉から濃い紅葉までいろいろな色調が山々を彩る。山口市は大変ありがたいことに山や海へすぐに行くことができる。秋は快適なドライブコースが心を癒してくれる。

今年、10月31日の日曜日にいつものドライブコースを走ってきた。戸河内ICから益田市、津和野を抜けるコースである。中国山地はまだ色づく程度であった。津和野町の堀庭園も残念ながら僅かに色づく程度であった。11月2日の外来に津和野町の方が受診に来られた。紅葉の程度を聞くと「今が見頃ですよ」との返事であった。「うそだろう」と思いながら3日の文化の日に津和野へ出かけた。何と旧家がこんもりと赤色に縁どられるかのごとく静かに佇んでいた。数日の間にこんなにも違うのだろうか。2階の部屋から眺める庭園は朝日に輝く錦繡の光景である。旧家と紅葉のバランスが絶妙である。最近は道の駅と紅葉を合わせて津和野を訪れる方が多いとのこと。このような場に佇み、静かに色づく光景をみてひと時を過ごすことはまさに僥倖と言える。また、緊張の毎日を過ごすわれわれには、時にはリラックスすることが必要である。大自然の中に静かに佇む一人の人間として、自然に溶け込むことは何と素晴らしい事か。色とりどりの色彩の中に自分の心も豊かな色彩を帯びるのである。

紅葉の景勝地の中で忘れることができないのが益田市的美都町にある秦佐八郎先生の生家の裏山である。見事というほかない。岡山、東京に住まわれた先生は、ことあるごとに生家の裏山の紅葉を思い出されたことだろう。紅葉を見ていると先生と、二人で見ているような気持ちになる。高

飄

々

広報委員

渡邊 恵幸

校時代に同町の出身の友人が医学部希望の私を連れて行ってくれた。遠い昔の懐かしい思い出である。その友人は現在、東京のある大学の名誉教授になり活躍している。

11月7日の日曜日に再度、上記のドライブコースを回ってきた。今回は吉和ICで降り、もみの木森林公園に向かった。ここも又、素晴らしい紅葉であった。この公園は山口日赤に就職した折に家族や友人と何回も行ったところである。日赤病院の写真部の撮影会と懇親会を兼ねて一泊旅行をしたこともある。いろいろな職種の方と夜遅くまで語り合ったことが今でも鮮やかによみがえる。いい時代であった。

老若男女を問わず静かにのんびり、ゆっくりと自然に包まれ一日を過ごすことは、かけがえのない人生の至福のひとつである。

11月3日に本年度の文化勲章受章者が発表され、その中に長嶋茂雄さんが入っておられた。

私の子供時代は終戦後の時代であった。小学6年生の時、田舎の家の改築があり、中年の大工さんが話の中で来年、立教大学から長嶋という選手が巨人に入団すると話された。

1958年4月、当時の国鉄の金田投手から4打席4三振に打ちとられたが、翌日の5打席目にホームランを放ったのである。華々しいデビューだった。それ以来、長嶋さんのファンとして今日に至っている。その長嶋さんが文化勲章の受章者に選ばれた。考えてみれば、野球を国民的スポーツにまで盛り上げた長嶋さんの貢献度は誰が見ても明らかである。これからもどうか健康に気を付けられ、病気に打ち勝って、毎日を送っていただきたいと祈っている。